

兵庫県産ゾウムシに関する文献目録(2)^{*}

高橋 寿郎

38. 山本義丸(1954) 氷ノ山の昆虫

Natura(11) : 7-9.

次のゾウムシ類の記録あり(和名のみ).

35. ムツモンミツギリゾウムシ. 36. オジロヒゲナガゾウムシ=シリジロヒゲナガゾウムシ. 37. クロオビヒゲナガゾウムシ. 38. ヒゲナガオトシブミ.

39. 近畿甲虫同好会編(1955) 原色日本昆虫図鑑, 甲虫編. 増補改訂版(保育社・大阪)(担当 伊賀正汎).

次の図説あり.

pl.61, f.1352, p.196. ウスモンツツヒゲナガゾウムシ *Ozotomerus japonicus* Sharp 1947.VI.兵庫県村岡.

f.1356. タマカイガラヒゲナガゾウムシ *Anthrribus kuwanai* Yuasa 1945.V.兵庫県笹部.

f.1357. ワタミヒゲナガゾウムシ *Aracerus fasciculatus* De Geer 1948.VI.兵庫県村岡.

pl.62, p.198, f.1376. オオゴボウゾウムシ

Larinus griseopilosus Roelofs=*L. melegaris* Petri
上記学名だとシラクモゴボウゾウムシになる.
1948.VI.氷の山.

pl.62, p.201, f.1403. ヒゲナガオトシブミ

Paratrachelophorus longicornis Roelofs 1948.VI.氷の山.

40. 大槻孝司(1957) 氷の山妙見山の昆虫

Natura(14) : 41-45.

次のゾウムシ類の記録あり(和名のみ, データ無し).

42. ヒゲナガオトシブミ. 43. アシナガオトシブミ.

44. カシルリオトシブミ.

41. 岡本大二郎・安部凱裕(1957) 姫路地方のイネゾウムシ

日本応用動物昆虫学会誌 1(4) : 274-275.

表題のごとく姫路地方でのイネゾウムシの生活史, 冬, 春期における棲息密度の推移, 稲の被害状

況, 幼虫及び蛹の死亡率と土壤水分の関係, 稲の播種, 移植期と被害の関係等について述べられている.

42. 山本義丸(1958) 兵庫県氷上郡昆虫目録

氷上の自然 第3集 Natura 特別号 A5, 134p. (ref. p.72-102).

甲虫類は71科833種記録されており, ゾウムシ類は次のように記録されている.

p.100. ヒゲナガゾウムシ科7種. ナガアシヒゲナガゾウムシ, クロフヒゲナガゾウムシ, アカミヒゲナガゾウムシ, ウスモンツツヒゲナガゾウムシ, セマルヒゲナガゾウムシ, タマカイガラゾウムシ *Brachylarsus*=*Anthrribus*, ワタミヒゲナガゾウムシ.

オトシブミ科11種. ゴマダラオトシブミ, ヒメゴマダラオトシブミ,

p.101. ヒメコブオトシブミ, オトシブミ, ウスモンオトシブミ, ウスアカオトシブミ, ヒメクロオトシブミ, ヒゲナガオトシブミ, ルイスアシナガオトシブミ=リュイスアシナガオトシブミ, アシナガオトシブミ, カシルリオトシブミ.

チョッキリゾウムシ科5種. ドロハマキチョッキリ *Byctiscus regalis* Roelofs=*Byctiscus* (*Byctiscus*) *puberulus* (Motschulsky,1860), ファウストハマキチョッキリ, クチナガチョッキリ, ブドウハマキチョッキリ *Aspidobyctiscus*=*Byctiscus* (*Aspidobyctiscus*).

ホソクチゾウムシ科1種. マメホソクチゾウムシ. ゾウムシ科44種. リンゴコフキゾウムシ, ヒラズネヒゲボソゾウムシ, コフキゾウムシ, マツトビゾウムシ, アオヒゲナガゾウムシ, クロホシクチプトゾウムシ, スグリゾウムシ, カキゾウムシ, コシロコブゾウムシ *Dermatoxenus caesicollis* Gyllenhal, ヒメシロコブゾウムシ *D.nodosus* Motschulsky は学名から見た限り両者同一種でヒメシロコブゾウムシ *D. caesicollis* (Gyllenhal,1833) になる. シロコブゾウムシ, ハスジカツオゾウムシ, カツオゾウムシ, オオゴボウゾウムシ *Larinus griseopilosus* Roelofs

* 兵庫県甲虫相資料・344

学名からすればシラクモゴボウゾウムシ、ゴボウゾウムシ、シラクモゴボウゾウムシ *Larinus formosus* = *L. griseopilosus*, フタキボシゾウムシ、マツアナアキゾウムシ、フレイアナアキゾウムシ *Hylobius freyi* Zumpt = クリアアナアキゾウムシ *Dyscerus exsculptus* (Roelofs, 1875).

p.102. コクロアナアキゾウムシ *Hylobius cribratus* = *Dyscerus cribratus*, マツキボシゾウムシ, オオシロオビゾウムシ, オオゾウムシ *Sipahus hypocrita* = *S. gigas* (Fabricius), コクゾウムシ *Sitophilus oryzae* = *S. zeamais* Motschulsky, コクゾウ *S. sasakii* Takahashi = *S. oryzae* (Linnaeus, 1796), トホシオサゾウムシ, 以上5種はオサゾウムシ科。クロキボシゾウ, イチゴハナゾウムシ, イネゾウムシ, カシアシナガゾウムシ *Alcides piceus* = *Mecysolobus*, オジロアシナガゾウムシ *Alcidodes trifidus* = *Mesalcidodes*, モンチビゾウムシ, マツシラホシゾウムシ *Cryptorhynchidius insidious* = マツノシラホシゾウムシ *Shirahoshizo insidiosus*, マダラメカクシゾウムシ, マダラアシゾウムシ, クリシギゾウムシ *Curculio dentipes* この学名はコナラシギゾウムシになる。ミヤマシギゾウムシ, ムシクサゾウムシ = ムシクサコパンゾウムシ, クロタマゾウムシ, オオノミゾウムシ *Rhynchaenus japonicus* Fustache = *R. japonicus* (Hustache), カシワノミゾウムシ, ヒメクロヒラタゾウムシ = カグヤヒメクイゾウムシ, キスジアシナガゾウムシ *Alcidodes flavosignatus* = *Mecysolobus*.

43. 氷の山調査団(1958) 氷の山の昆虫及び植物。
Natura(15): 17-19.

柏原高校生物研究会が1958年7月に4回目の氷の山生物調査を実施した。その結果をまとめたもので、次のゾウムシ類が記録されている。

ムツモンオトシブミ, オトシブミ, ヒメコブオトシブミ, フタモンアシナガオトシブミ = アシナガオトシブミ, オジロアシナガゾウムシ, カツオゾウムシ, ハスジカツオゾウムシ, マツノシラホシゾウムシ, オオゾウムシ, シロコブゾウムシ, ヒラズネヒゲホソゾウムシ, ブドウハマキチョッキリ。

44. 堀田 久(1959) 淡路島産甲虫目録(2)。
兵庫生物 3(5): 376-378.

28科87種記録されており、ゾウムシ科として7種が記録されている。

シロコブゾウムシ, ゴボウゾウムシ, オオゾウムシ, クロキボシゾウムシ, トホシオサゾウムシ, オジロアシナガゾウムシ, ツバキシギゾウムシ。

45. 高橋 匡(1959) 氷の山の甲虫。

Natura(16): 28-42.

柏原高校生物班が5年間(1955~1959)(毎年7月下旬~8月上旬3泊4日の調査)に実施した調査で得られた甲虫類44科279種の記録である。

ゾウムシ類は次のごとく記録されている。

ヒゲナガゾウムシ科3種。キマダラヒゲナガゾウムシ, カオジロヒゲナガゾウムシ, クロオビヒゲナガゾウムシ。

オトシブミ科10種。ヒメゴマダラオトシブミ, ヒメコブオトシブミ, オトシブミ, ウスモンオトシブミ, ウスアカオトシブミ, ヒメクロオトシブミ, セアカヒメオトシブミ, ムツモンオトシブミ, ヒゲナガオトシブミ, アシナガオトシブミ。

チョッキリゾウムシ科4種。イタヤハマキチョッキリ, クチナガチョッキリ, チャイロチョッキリ, ブドウハマキチョッキリ。

ミツギリゾウムシ科1種。ムツモンミツギリゾウムシ。

ゾウムシ科12種。カシアシナガゾウムシ, ヒラズネヒゲボソゾウムシ, リンゴコフキゾウムシ, シロコブゾウムシ, ハスジカツオゾウムシ, カツオゾウムシ, フタキボシゾウムシ, フレイアナアキゾウムシ *Hylobius freyi* Zumpt = クリアアナアキゾウムシ *Dyscerus exsculptus* (Roelofs, 1875), オサゾウムシ, オジロアシナガゾウムシ *Alcidodes trifidus* = *Mesalcidodes*, マツシラホシゾウムシ = マツノシラホシゾウムシ, シロホシヒメゾウムシ *Baris reini* = シラホシヒメゾウムシ *B. dispilata* (Solsky)。

46. 村上雅昭(1959) 蘇武・澗川・妙見の昆虫。

Natura(16): 48-51.

柏原高校生物研究会が1959年5月3日より3日間表記地域での調査結果をまとめたもの。次のゾウムシ類の記録が含まれている。

ゾウムシ科6種。カシアシナガゾウムシ, オジロ

- アシナガゾウムシ, マツアナアキゾウムシ, リンゴコフキゾウムシ, フタキボシゾウムシ, イチゴハナゾウムシ.
- オトシブミ・チョッキリゾウムシ科 8 種. ヒゲナガオトシブミ, イタヤハマキチョッキリ, ヒメクロオトシブミ, ヤドカリチョッキリ, ファウストハマキチョッキリ, オトシブミ, ムツモンオトシブミ, アシナガオトシブミ.
47. Morimoto, K. (1959) On the Genus *Miarus* Stephen from Japan (Col., Curculionidae, Gymnetrinae).
Kontyu 27(3) : 190-195.
日本産 *Miarus* 属ゾウムシの研究で 2 新種の記載を含む兵庫県の記録が次のごとくある.
p.191-192. *Miarus kobanzo* Kōno オオコパンゾウムシ Mayasan, 1♂, 1♀, 17.VI, 1951, Y.Wada leg.
48. 鈴木清明 (1960) 扇ノ山のゾウムシ類
兵庫農科大学生物研究部々誌 (1) : 18-20.
扇ノ山産ゾウムシ類の目録である。データはついていないが 1958~1960 年の 3 年間 7 月中~下旬に実施されたものようである。分類の方法が若干違っている。ここでは現在の分類法によった。ミツギリゾウムシ科 1 種。ムツモンミツギリゾウムシ。
ヒゲナガゾウムシ科 5 種。クロヒゲナガゾウムシ = クロオビヒゲナガゾウムシ, ナガアシヒゲナガゾウムシ = アシナガヒゲナガゾウムシ, チャマダラヒゲナガゾウムシ, *Tropideres latirostris* = *Acorymus*. キノコヒゲナガゾウムシ *Caccorhinus oculatus* = *Euparis*. マダラヒゲナガゾウムシ。
チョッキリゾウムシ科 4 種。ドロハマキチョッキリ, ファウストハマキチョッキリ, チャイロチョッキリ, クチナガチョッキリ *Rhynchites* = *Involvus*.
オトシブミ科 6 種。ムツモンオトシブミ, ウスアカオトシブミ, セアカヒメオトシブミ, ヒメクロオトシブミ, ゴマダラオトシブミ, ヒゲナガオトシブミ。
ゾウムシ科 13 種。リンゴコフキゾウムシ, コフキゾウムシ, ヒメシロコブゾウムシ, サビマルクチフトゾウムシ = サビマルクチゾウムシ, カツオゾウムシ, ハスジカツオゾウムシ, フレイア
ナアキゾウムシ *Hylobius freyi* Zumpt = クリアナアキゾウムシ *Dyscerus exsculptus* (Roelofs, 1875), ナガアナアキゾウムシ *Hylobius laeiventris* = *Dyscerus*, コクロアナアキゾウムシ *Hylobius cribratus* Roelofs = オリーブアナアキゾウムシ *Dyscerus perforatus* (Roelofs, 1873), クロコブゾウムシ, シラホシヒメゾウムシ *Barisreinii* Roelofs = *B. dispilota* (Solsky), マダラメカクシゾウムシ, フトカツオゾウムシ = ツツゾウムシ。
オサゾウムシ科 1 種。オオゾウムシ。
49. 村上雅昭 (1960) 扇ノ山の甲虫
Natura (17) : 33-35.
1959 年 7 月 26-30 日間, 扇ノ山で甲虫採集調査を実施した結果をまとめたものである。ゾウムシ類は次のとおり記録されている(和名のみである)。ゾウムシ科 5 種。アズキゾウムシ...学名がないのでこの和名ではよくわからない。アズキマメゾウムシのこともかもしれない, リンゴコフキゾウムシ, イチゴハナゾウムシ, オオゾウムシ, マルヒョウタンゾウムシ, ヒョウタンゾウムシの 1 種, カツオゾウムシの 1 種。
オトシブミ科 4 種。カシルリオトシブミ, ヒゲナガオトシブミ, ヒメクロオトシブミ, ウスアカオトシブミ。
50. 高橋 匡 (1960) 氷上郡昆虫目録追加 (第 1 報) Natura (17) : 100-105.
次の記録がある。ハイイロチョッキリ(チョッキリゾウムシ科), マルヒョウタンゾウムシ。
51. Hustache, A. (1961) Synopsis des Ceuthorrhynchini du Japon.
Ann. Soc. Ent. France LXXXV : 107-144.
日本産サルゾウムシ亜科の分類学的研究であり, 22 新種, 1 新変種の記載が含まれている。p.113 に G.Lewis が Kobe で採集された標本に基づき *Phytobius quadricornis* Gyll. var. *Roelofsi* Hustache と新変種を記載されている。現在では *Phytobius quadricornis roelofsi* Hustache マルマメゾウムシの亜種に取り扱われている。
52. 鈴木清明 (1961) 多紀郡のぞうむし類
兵庫農科大学生物研究部々誌 (2) : 43-44.
表記のごとく多紀郡下で得られたゾウムシ類の

目録であるが、採集データが全く入っていない。分類法も若干現在と違っている。

ヒゲナガゾウムシ科 1種。セマルヒゲナガゾウムシ。
 オトシブミ科 13種。ハギツルクビオトシブミ=エゴツルクビオトシブミ、アカクビナガオトシブミ、ゴマダラオトシブミ、ヒメコブオトシブミ、オトシブミ、セアカヒメオトシブミ、ヒメクロオトシブミ、ヒゲナガオトシブミ、ルイスアシナガオトシブミ=リュイスアシナガオトシブミ、アシナガオトシブミ、カシルリオトシブミ、コブルリオトシブミ。

チョッキリゾウムシ科 4種。イタヤハマキチョッキリ、ファウストハマキチョッキリ、クチナガチョッキリ、シリプトチョッキリ。

ゾウムシ科 38種(オサゾウムシ科 3種を含む)。リンゴコフキゾウムシ、コフキゾウムシ、マツノトビゾウムシ、アオヒゲナガゾウムシ、ミヤマヒゲボソゾウムシ、クロホシクチプトゾウムシ、カシワクチプトゾウムシ、スグリゾウムシ、カキゾウムシ、コシロコブゾウムシ=ヒメシロコブゾウムシ、ヒメシロコビゾウムシ=ウスヒョウタンゾウムシ、シロコブゾウムシ、ハスジカツオゾウムシ、カツオゾウムシ、フタキボシゾウムシ、マツアナアキゾウムシ、フレイアナアキゾウムシ=クリアアナアキゾウムシ、オオアオゾウムシ、クロコブゾウムシ、アカコブゾウムシ、コクロアナアキゾウムシ、ナガアナアキゾウムシ、マツキボシゾウムシ、オオゾウムシ、ココクゾウムシ、トホシオサゾウムシ、シロオビアカアシナガゾウムシ、イチゴハナゾウムシ、イネゾウムシ、カシアシナガゾウムシ、オジロアシナガゾウムシ、ホホジロアシナガゾウムシ、マツシラホシゾウムシ *Cryptorhynchidius insidious*=マツノシラホシゾウムシ *Shirahoshizo insidiosus* (Roelofs)、マダラメカクシゾウムシ、マダラアシゾウムシ、ミヤマシギゾウムシ、エゴシギゾウムシ *Curculio shigizo*=コナラシギゾウムシ *Curculio dentipes* (Roelofs, 1874)。

53. 足立 勲(1961) 扇ノ山採集記
 Natura (18) : 29-35.

1961年7月25~28日の間、柏原高校生物研究会扇ノ山5カ年生物調査の2年目の調査結果をまとめたもので、最後に採集品リストが示されている。但し和名だけである。ゾウムシ関係は次のよう

に記録されている。

ヒゲナガゾウムシ科。ヒゲナガゾウムシ(種名不明)、マダラフトヒゲナガゾウムシ。

オトシブミ科 4種。ヒメコブオトシブミ、ヒゲナガオトシブミ、ヒメクロオトシブミ、カシルリオトシブミ。

チョッキリゾウムシ科 1種。イタヤハマキチョッキリ。

ゾウムシ科 3種。ミドリクチプトゾウムシ、ヒメシロコブゾウムシ、シロオビヒメゾウムシ(学名がないのでよくわからない)。

54. 高橋 匡(1961) 水上郡昆虫目録追加(第2報) Natura (18) : 66-74.

ゾウムシ類は次のとおり(p.71-73)(全部中條道夫博士同定)。

チョッキリゾウムシ科 2種。コナライクビチョッキリ、クロケシツブチョッキリ。

ゾウムシ科 24種(うちチョッキリゾウムシ科 2種を含む)。ウスグロアシプトゾウムシ、ツバキシギゾウムシ、サビクチビロゾウムシ=サビクチプトゾウムシ、キイチゴトゲサルゾウムシ、*Bagous dipunctatus* (Kono)?、クロコブゾウムシ、アシナガオニゾウムシ、ヒメゾウムシ=クワヒメゾウムシ、レロフチビシギゾウムシ、ウスモンシギゾウムシ、*Curculio minimus* (Kono)?、タデノシラフクチプトゾウムシ=タデノクチプトサルゾウムシ、クリイロクチプトゾウムシ、カシワクチプトゾウムシ、ハコベタコゾウムシ、マダラノミゾウムシ、ギシギシクチプトゾウムシ=ギシギシクチプトサルゾウムシ、ヒメケブカチョッキリ(チョッキリゾウムシ科)、アオバネサルゾウムシ、ウスモンカレキゾウムシ、アカイネゾウムシ=アカイネゾウムシモドキ、シロオビアカアシナガゾウムシ、*Auletobius testaceus* (Roelofs)=*A. (Parauletus) fumigatus* (Roelofs, 1874)、チャイロケシツブチョッキリ=コクロケシツブチョッキリ、ミヤマタマゴゾウムシ。

55. 中條道夫・高橋寿郎(1961) 兵庫県産ゾウムシ類。

MIKADO 1(2) : 17-26.

筆者が兵庫県下で採集したゾウムシ類をまとめたもので、同定は中條道夫博士による。全部に採集データ付き。

チョッキリゾウムシ科9種。チャイロチョッキリ、ブドウハマキチョッキリ、ファウストハマキチョッキリ、ベニホシハマキチョッキリ=ドロハマキチョッキリ、イタヤハマキチョッキリ、クロゲルリチョッキリ=カシルリチョッキリ、コナライクビチョッキリ、オオケブカチョッキリ、ヒメケブカチョッキリ。

オトシブミ科15種。ウスモンオトシブミ、アカハラヒメオトシブミ=ヒメクロオトシブミ、セアカヒメオトシブミ、オトシブミ、ムツモンオトシブミ、アカクビナガオトシブミ、ヒゲナガオトシブミ、ゴマダラオトシブミ、ヒメゴマダラオトシブミ、ヒメコブオトシブミ、ハギルリオトシブミ、ケシルリオトシブミ、ルリオトシブミ、カシルリオトシブミ、ルイスアシナガオトシブミ。

ホソクチゾウムシ科2種。ヒメケブカホソクチゾウムシ、マメホソクチゾウムシ *Conapion (Pseudopiezotrachelus) collare* (Schilsky, 1906) = *Apion collare* Schilsky.

ゾウムシ科58種(オサゾウムシ科3種を含む)。トゲアシゾウムシ、シロコブゾウムシ、クワイロクチブトゾウムシ、ケブカクチブトゾウムシ、カシワクチブトゾウムシ、クロホシクチブトゾウムシ、オオツカクチブトゾウムシ、オオクチブトゾウムシ、ミドリクチブトゾウムシ、ミヤマヒゲボソゾウムシ、リンゴコフキゾウムシ、コヒゲボソゾウムシ、キンヒゲボソゾウムシ=キューシュウヒゲボソゾウムシ、マルヒョウタンゾウムシ、ヒメシロコブゾウムシ、コフキゾウムシ、ヤサイゾウムシ、ハコベタコゾウムシ、オオゴボウゾウムシ、ハスジカツオゾウムシ、ナガカツオゾウムシ、カツオゾウムシ、アイノカツオゾウムシ、ツツゾウムシ、マツキボシゾウムシ、ホホジロアシナガゾウムシ、カシアシナガゾウムシ、オジロアシナガゾウムシ、マツアナアキゾウムシ、ホリアアナアキゾウムシ、モンキアナアキゾウムシ *Hylobius exsculptus*=クリアナアキゾウムシ *Dyscerus exsculptus*、アカコブコブゾウムシ、ミヤマタマゴゾウムシ、ヒメクロカレキゾウムシ=アトジロカレキゾウムシ、シロオビカレキゾウムシ=マダラカレキゾウムシ、クリノクチカクシゾウ *Coelosternus electus*=マダラクチカクシゾウムシ *Cryptorhynchus*、アカクチカクシゾウムシ *Cryptorhynchus rufescens*

(Roelofs, 1875)=ハスジクカクシゾウムシ *Crypterrhynchus fasciculatus* (Roelofs, 1875)、マダラアシゾウムシ、アシナガオニゾウ、マダラメカクシゾウ、オオクチカクシゾウ、ヒラセクモゾウ、アルマントゲサルゾウムシ *Ceuthorrhynchus harmandi*=*Magnerinus*、アカセスジサルゾウムシ=ツツジトゲムネサルゾウムシ、レロフヨツカドサルゾウムシ=マルマメサルゾウムシ、キボシヒメゾウ=シラホシヒメゾウムシ、ナツグミシギゾウムシ、セダカシギゾウムシ、レロフチビシギゾウムシ、ウスイロシギゾウムシ=コナラシギゾウムシ、イチゴバナゾウ、リンゴノミゾウ *Rhamphus pullus* Hustache, 1920 = *R. pulicarius* (Herbust, 1795)、ケブカゾウムシ=ヤドリノミゾウムシ、ムネスジノミゾウ、アカイネゾウムシ=アカイネゾウムシ。

オサゾウムシ科3種。トホシオサゾウムシ、オオシロオビゾウムシ、オオゾウムシ。

56. 関 公一(1962) 昆虫生態写真 昆虫界 15(127) : 7-8.

神戸市内で撮影のゾウムシの写真が示されている。p.7, シロコブゾウムシ 神戸市ヘルマン山, p.8, オジロアシナガゾウムシ 神戸市本山町。

57. 長田高校生物研究会甲虫班(1962) 六甲山系 甲虫類目録(II)。

Shida (10) : 11-12.

次のようにゾウムシ類の記録がある。採集データはついているが和名だけである。全部神戸市内産。

ゾウムシ科16種(オサゾウムシ科のものも含む)。ハスジカツオゾウムシ、ゴボウゾウムシ、オオゾウムシ、マツキボシゾウムシ、トホシオサゾウムシ、オジロアシナガゾウムシ、コナラシギゾウムシ、ヒメシロコブゾウムシ、カツオゾウムシ、クロホシクチブトゾウムシ、ウスモンカレキゾウムシ、マツアナアキゾウムシ、キスジアシナガゾウムシ、オジロアシナガゾウムシ、マダラアシナガゾウムシ、マツシラホシゾウムシ。

オトシブミ科(チョッキリゾウムシ科のものも含む)。ゴマダラオトシブミ、ヒメクロオトシブミ、オトシブミ、アシナガオトシブミ、カシルリオトシブミ、イタヤハマキチョッキリ、クチ

ナガチョッキリ, モモチョッキリ,

58. 山本毅丸・高橋 匡(1962) 氷上郡昆虫目録 追補(第1集)

1958年に発表された「氷上郡昆虫目録」に追加してここに2科213種が記録されている。その中でゾウムシ類が次のように含まれている。

ヒゲナガゾウムシ科1種。シロヒゲナガゾウムシ。オトシブミ科1種。セアカヒメオトシブミ。

チョッキリゾウムシ科4種。ハイイロチョッキリ, コナライクビチョッキリ, クロケシツブチョッキリ, イタヤハマキチョッキリ。

ゾウムシ科26種。マルヒョウタンゾウムシ,

Cryptorrhynchus obscurus Roelofs?, ツバキシギゾウムシ, サビクチピロゾウムシ=サビクチフトゾウムシ, キイチゴトゲサルゾウムシ, カギアシゾウムシ, クロコブゾウムシ, アシナガゾウムシ, *Barinae*?, ヒメゾウムシ=クワヒメゾウムシ, レロフチビシギゾウムシ, ウスモンシギゾウムシ, タデノシラフクチフトゾウムシ=タデノクチフトサルゾウムシ, クリイロクチフトゾウムシ, カシワクチフトゾウムシ, ハコベタコゾウムシ, マダラノミゾウムシ, *Rhinoncus jakovlevi* Faust ギシギシクチフトゾウムシ, *Ceuthorrhynchus ibukianus* Hustache アオバナサルゾウムシ, ウスモンカレキゾウムシ, アカイネゾウムシ=アカイネゾウムシ, シロオビアシナガゾウムシ, ミヤマタマゴゾウムシ。

59. 山本茂信(1962) 妙見山資料館奉納: 妙見山昆虫採集目録。

養父郡八鹿町石原妙見山で採集された昆虫類の目録で、採集は豊岡高等学校生物班による。次のゾウムシ類が記録されている。

イタヤハマキチョッキリ, ヒメコブオトシブミ, オオゾウムシ, クロコブゾウムシ。

60. Konishi, M. (1963) On the Japanese species of the Genus *Dryophthorus* Schönherr, with description of two new Species (Coleoptera, Curculionidae).

Ins. Mats., 25(2): 124-128.

日本産 *Dryophthorus* 属キクイゾウムシについての研究で、2新種の記載があるがうち1新種は筆者採集の兵庫県産の標本も含まれる。

即ち, *Dryophthorus japonicus* Konishi lex., Nunobiki(神戸・布引) 17.V.1959, T.Takahashi leg., スギキクイサビゾウムシ。

61. 辻 啓介(1963) 但馬属ノ山甲虫目録(1)

兵庫農科大学生物研究部々誌(3): 24-47.

兵庫農科大学学生による5年間にわたる属ノ山の甲虫調査の結果をまとめたものであり、此処に48科294種と中根猛彦博士が属ノ山で採集した甲虫13科28種も同時に収録されている。ゾウムシ類は次のごとく記録されている。

オトシブミ科(チョッキリゾウムシ科も含む)7種。

ヤドカリチョッキリ, イタヤハマキチョッキリ, ハギツルクビオトシブミ=エゴツルクビオトシブミ, アカクビナガオトシブミ, ピロウドアシナガオトシブミ=ピロウドハマキチョッキリ, ヒメコブオトシブミ, カシルリオトシブミ, ヒゲナガゾウムシ科2種。カオジロヒゲナガゾウムシ, シリジロヒゲナガゾウ。

ゾウムシ科12種。アカヒョウタンゾウ, 総目録(1989)によると此処に示された *Catapionus angusticollis* (Motschulsky, 1866) は和名なく、分布は日本とのみで属についても疑問符がついているよくわからない種である。

ミヤマシギゾウ, ゴボウゾウ, オジロアシナガゾウ, ホホジロアシナガゾウ, キスジアシナガゾウ, イチゴハナゾウ, マツシラホシゾウ *Cryptorrhynchidius insidiosus*=マツノシラホシゾウムシ *Shirahoshizo insidiosus*, マルヒョウタンゾウ, フタキホシゾウムシ?, マツアナアキゾウムシ, ヤクアナアキゾウ?。

62. 高橋 匡(1963) 出石郡昆虫目録(第一報)

VITA(兵庫県立出石高等学校科学部生物班会誌)(1): 1-34.

次のようにゾウムシ類の記録がある。

オトシブミ科(チョッキリゾウムシ科も含む)6種。

ヒメケブカチョッキリ, ルイスアシナガオトシブミ=リュイスアシナガオトシブミ, ヒメコブオトシブミ, オトシブミ, ヒメクロオトシブミ, ウスモンオトシブミ。

ミツギリゾウムシ科1種。ミツギリゾウムシ。

ゾウムシ科29種。リンゴコブキゾウムシ, オオクチフトゾウムシ, コカシワクチフトゾウムシ, アオヒゲナガゾウムシ, シロコブゾウムシ, ヒ

- メシロコブゾウムシ, カギアシゾウムシ, ハスジカツオゾウムシ, カツオゾウムシ, シラクモゴボウゾウムシ, オジロアシナガゾウムシ, ホホジロアシナガゾウムシ, キスジアシナガゾウムシ, カシアシナガゾウムシ, マツアナアキゾウムシ, ガロアナアキゾウムシ, フライアナアキゾウムシ *Hylobius freyi* Zumpt=クリアアナアキゾウムシ *Dyscerus exsculptus* (Roelofs, 1875), チュウジョウアナアキゾウムシ, ウスモンカレキゾウムシ, ホソクチカクシゾウムシ, クロクチプトサルゾウムシ, マツシラホシゾウムシ=マツノシラホシゾウムシ, トゲアシゾウムシ, ケナガスグリゾウムシ, ヒゲナガホソクチゾウムシ, ツバキシギゾウムシ, クリシギゾウムシ, イネゾウムシ, マツオオキクイゾウムシ.
- オサゾウムシ科 5 種. オオゾウムシ, ココクゾウムシ, コクゾウムシ, グラナリアコクゾウムシ?, トホシオサゾウムシ.
63. 妙見山資料館(1963) 妙見山生物資料館報(第2号)
オオゾウムシがゾウムシ類では記録されている.
64. 妙見山資料館(1964) 妙見山資料館報(第3報)
イタヤハマキチョッキリ, ヒメコブオトシブミ, オオゾウムシの3種が妙見山産甲虫として記録されている.
65. 高橋 匡(1965) 出石郡昆虫目録(第2報)
VITA (2): 1-6.
甲虫類は18科51種記録されている. ゾウムシ類は次のように記録されている.
セアカチョッキリ, ムツモンオトシブミ, フライアナアキゾウムシ=クリアアナアキゾウムシ, フタキボシゾウムシ, マメホソクチゾウムシ.
66. 西脇自然同好会昆虫班(1965) 西脇・多可・八千代昆虫目録.
西脇自然同好会々報 1(1): 50-58.
17科150種記録されている. データはついていないが和名だけである. ゾウムシ類の記録は次のとおりである.
コフキゾウムシ, ヒメシロコブゾウムシ, ハスジカツオゾウムシ, カツオゾウムシ, マツキボシゾウムシ, オジロアシナガゾウムシ, コナラシギゾウムシ, ヒメコブオトシブミ, オトシブミ, ウスアカオトシブミ, ヒメクロオトシブミ, ハギツルクビオトシブミ=ハギルリオトシブミ, モモチョッキリ.
67. 高橋 匡(1966) 扇ノ山の昆虫(特に甲虫について).
Natura (23): 14.
次のゾウムシの記録が含まれる.
ナガカツオゾウムシ, オオクチカクシゾウムシ.
68. Shibata, T. (1969) Studies on Japanese Anthribidae, III (Coleoptera).
Entom. Rev. Japan 22(1): 9-31, pl. 2-4.
p. 28-30. *Enedreytes gotoi* Shibata, チビクチボソヒゲナガゾウムシ, Sasabe, Nose Hyogo Pref. なる新種記載あり.
68. 仲井啓郎(1969) 氷上郡における栗園の昆虫相.
兵庫生物 6(1): 65-72.
氷上郡奇垣町佐治の45アールの栗園で1967年4月から1967年12月までの間, 28回採集調査をした結果, 昆虫類9目62科131種がまとめられている. ゾウムシ類は次のように記録がある.
オトシブミ, チャイロチョッキリ, ゴマダラオトシブミ, クロホソチョッキリ, クチプトチョッキリ, マルムネチョッキリ, シリプトチョッキリ, コナライクビチョッキリ, クリシギゾウムシ, クロホシクチプトゾウムシ, オオクチプトゾウムシ, カシワクチプトゾウムシ.
70. 佐々木基之(1969) 甲陵中学校付近の甲虫類.
甲陵生物 (4): 8-14.
甲陵中学校(西宮市上甲東園)付近で採集した29科156種の目録. 和名とデータはついていないが各種の状況説明がついている. ゾウムシ類は次のとおり記録されている.
シロコブゾウムシ, ハスジカツオゾウムシ, オオゾウムシ, オジロアシナガゾウムシ, イネゾウムシ, マツシラホシゾウムシ, トホシオサゾウムシ, ヒメクロオトシブミ, カシルリオトシブミ, ヤドカリチョッキリ, モモチョッキリ.
(TAKAHASHI TOSHIO 神戸市兵庫区氷室町 1-44)